

考えた末

冬夜の時雨

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

考えた末。

考えるとは何なのだろうか。

目次

考えた末

1

考えた末

考えた。

それはもう考えた。

布団に入った瞬間に襲われる不快感。

瞼を閉じた瞬間に始まる壮絶な状況。

いつから考えていたのか。

いつまで考えれば良いのか。

考えました。

それはもう。

とことん考えました。

答えは出ませんでした。

私には難しかったのでしょうか。

そういうことなのでしょうか。

私の能力が足らなかったのでしょうか。

だから、私は考えるだけで終わってしまったのでしょうか。

何故でしょうか。

考えたら答えが出るのでしょうか。

自分なりなんていう言葉遊びで出した答えが必要なのでしょうか。
大事な事なのでしょうか。

尊重されることなのでしょうか。

あなたの答えなのでしょうか。

周りの答えだったのでしょうか。

なぜそう考えてその答えになるのでしょうか。

答えを出すって何ででしょうか、

答えが出せない思考は、その思考は無駄なのでしょうか。

無駄とは何ででしょうか。

道端に落ちるゴミは無駄なのでしょうか。

いいえ。

それが必要な人がいるかもしれないので無駄ではありません。

誰からも見ることができない私の思考は無駄なのでしょうか。

いいえ。

私がそれを必要としているので無駄ではありません。

無駄だと言われ、その思考をごみ箱に捨てたつて。

捨てたとしても。

拾ってもらえる時なんてあるものなのです。

その思考は偉大なのです。

あなたしか。

あなただけのオリジナルなのです。

思考は無駄にはなりません。

答えが出なくとも無駄にはならない。

だからこそ、 $1+1=2$ が難解と言われるのです。

あなたのなかでこの式をイメージしましょう。

私は、考え。

ひたすら考えても。

$1+1=1$ となつてしまいます。

ダメでしょうか。

その考えや思考はダメで無駄なのでしょうか。

無駄となってしまうのでしょうか。

この世に無駄などあるのでしょうか。

なぜ、無駄なのでしょう。

考える。

それはもう。

ひたすら考えました。

ですが、答えが出ませんでした。

それでいい。

それでいいのです。

答えは求めていません。

ですから。

その思考の道順を尊重させてください。

その道筋が何よりも尊い。

思考とは偉大だ。

考えることは至高だ。

考えて答えを出すのではない。

ただ真実を用いれば答えなんて出る。

なぜ真実なのか。

それが正しいのか。

考えるとは大切なことだ。

汗が酷い。

眠れない。。。。

朝起きれば冷や汗。

きつと考えすぎてしまったのでしよう。

答えなんて置いて行っちゃった。

答えなんてゆうに越えてしまった。

そして、その思考が怖くなる。

思考はあまりにも不可解だ。